



外国語指導助手レベッカ先生による英語の授業の様子（轟木小学校）



木下志き子議員

## 学校教育

# 外国語の指導内容は

## 段階に応じた英語を指導

### 質問 国際理解教育について、外国語によるコミュニケーション能力を育成するため、幼稚園、小学校からの指導を重視し、外国語指導助手の一層の活用に努めるとしているが、次の二点を問う。

- ① 外国語は主として何を指導するのか。また、その指導内容は。
  - ② 幼稚園児、小学生が対象にされていると理解するが、保育園児にはどのように向きあうのか。
  - ③ 外国語指導助手の人数は。松尾教育長
- 外国語は英語である。指導内容は、幼稚園、保育園、小学校段階では英語音の特徴に慣れ親しむことや、英語での簡単な言い回しやコミュニケーションに親しむことを目指し、中学校においては、英語による実践的コミュニケーション能力の育成を目指している。

## 町の考えを聞く

- ② 保育園については、主に幼稚園、小学校の長期休業中を利用して要請に応じて指導していく。
- ③ 英語指導助手の人数は一人である。

### 日蘭交流

## 友好親善記念事業の内容は

### 50周年記念式典と同時期に開催

**質問** 今年度はザイスト市との友好締結五周年記念事業として、日蘭交流友の会などと連携してオランダ週間の開催が予定されているが、どのようなスケジュールなのか、町民の意識高揚のために、どのような活動が展開されるのか。

**沼崎町長** オランダ週間は、山田町合併五十周年記念式典と同時期の開催を考慮しており、ザイスト友好締結五周年についても、十月二十三日の式典の中に組み

入れたい。現在のところ、ザイスト市からは市長、教育担当議員、報道関係者及び山田町との友好事業を展開している財団法人ホフライスからもフレッド・ステインスマ会長をはじめとする方々、駐日オランダ大使が来町する予定である。オランダ週間中は、ザイスト市の芸術作品を含むオランダの文化などを幅広く紹介し、町民にオランダに対する理解と知識を深めてほしい。